

1 主題構成表
 主題名 素直な心で
 資料名 お月さまとコロ

内容項目A 正直, 誠実
 うそをついたりごまかしをしたりしないで, 素直に伸び伸びと生活すること。

価値の分析
 ・低学年では, 叱られたり笑われたりしないように自分の言動をごまかしてしまうことがあるが, どんなときでも自分が過ちを犯したときには素直にその非を認め謝ることと, 人の失敗を責めたり笑ったりしない態度を養うことが求められる。
 ・また, うそやごまかしをしてしまう人間の弱さにも十分目を向けさせたい。他者から叱られたり笑われたりしたくないという思いは人間なら誰でも持っているものであるが, だからと言ってうそやごまかしをしてよいということにはならない。うそやごまかしはよくないことだという善悪の判断にもつなげて考えさせ, 正直に行動すると明るい心で生活できるということに気付かせていきたい。

内容項目から見た児童の実態
 (意識)
 ・児童同士のトラブルがあった時, 自分の過ちについてその非を素直に認めることができる児童が多く見られる。
 ・一方で, 自分の主張を頑なに続け, 自分の非をなかなか素直に認められない児童も見られる。
 (要因)
 ・正直に行動することが, 明るい心で生活することにつながることを理解して行動するまでには至っていない。
 ・うそやごまかしはよくないことだとわかってはいても, 他者から叱られたり笑われたりしたくないという思いから, 正直に行動することができずにいる。

資料の分析
 お月さまとコロ
 ・この資料は, 前半(友だちのギロの誘いを断る主人公コロ), 後半(お月さまに慰められるコロ)の二つの場面に分けられる。
 ・前半は, 自分の思い通りにならないとすぐに怒ったり, 文句を言ったりするコロが, 自らの気まぐれとわがままで友だちのギロを怒らせてしまう。謝らなくてはと思いつながら, 「謝るべきだ」「謝らなくてもいい」という二つの心の間を揺れ動いている。
 ・後半は, 揺れ動くコロがお月さまにやさしく声を掛けられ, 慰められる場面である。お月さまの言葉をきっかけに, 心が晴れやかになり, 素直な気持ちで「ギロに謝ろう」と思うようになる。正直な気持ちで行動することのよさについて考えを深められる資料である。

ねらい
 してはいけないことをしてしまった時は, 素直にその非を認め謝ることで心が晴れ晴れすることに気づき, 素直に伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。

展開の構想
 ・範読を聞き, ギロに素直に謝れなかったコロの気持ちを考えさせ, 謝りたいけれど謝れず気持ちが晴れないコロの心情を理解させる。
 ・お月さまと出会い, ギロに謝る決心をしたコロが, ギロにどんな話をしたかを考えるとともに, ギロに謝ることができたコロがどんな気持ちになったのかを考えさせる。
 ・コロのように素直になれてよかったことや, 素直になれずに困ったことについて振り返り, 素直な心で明るく生活していこうという意欲を高める。

判断力・心情・実践意欲を高める工夫
 ○[中心発問]「『あやまるんだ。』『あやまらなくてもいいんだ。』という二つの心が闘っているときのコロは, どのようなことを思っているのか。」という問いで, 素直に謝ろうか迷い, 気持ちが晴れないコロの心情に共感させ, ねらいに迫る。
 [学習形態]T1T2でパネルシアターによる資料の紹介をしたり, 役割演技のやり方が理解できるように手本を示したりする。
 ○[表現活動]コロが謝る場面と謝れたことをお月さまに報告する場面を役割演技で演じることで, 素直に謝り, 晴れ晴れとした気持ちになれたコロの気持ちの変化を考えさせる。
 ○[言語活動]道徳ノートに, 正直になれてよかったことや正直になれずに困ったことを記述する。

道徳科と他の教育活動との関連 (補充 ・ 深化 ・ 統合)
 学活「学級の諸問題を話し合おう」 道徳科「お月さまとコロ」 生活科「あそびの国を作ろう」
 素直に謝れないことで気持ちが晴れない主人公の気持ちを考えることを通して, してはいけないことをしてしまった時にも, うそやごまかしをせず向き合い明るい心で生活しようとする考えを深める。

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>本時のお話について興味をもつ。 「コロ」と「ギロ」というコオロギのお話です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公「コロ」やその友だちの「ギロ」に興味をもてるようにする。
展開前段	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">「わるいことをしてしまったときの心」について考えよう。</p> <p>資料「お月さまとコロ」を聞いて話し合う。 「あやまるんだ。」「あやまらなくてもいいんだ。」という二つの心が闘っているときのコロは、どのようなことを思っているのか。 「謝らなくていい」 ・これまでもぼくは、自分勝手に怒ってきたんだ。それで何が悪いんだ。 ・ぼくがこんな気持ちなのは、ギロのせいだ。 ・今さら素直になんかなれないよ。正直に謝ることって大変なんだな。 「謝りたい」 ・何度も誘ってくれたのに悪い気持ちにさせてごめんね。 ・どうして謝れないのだろう。謝ろうと思っても謝れないからスッキリしないな。 ・ギロは悲しんでいるだろうな。いつまでもこんな気持ちでは嫌だな。</p> <p>○謝る決心をしたコロは、ギロにどんなことを話すだろうか。その時、コロはどんな気持ちになっただろうか。 ・自分のことばかり考えていて、嫌な気持ちにさせてごめんね。これからも、友だちでいてほしいな。ギロと仲直りでできて良かったし、謝れてスッキリした気持ちになれたよ。 ・謝らなくてはいけないと思うのに、なかなか素直に言えなかったんだ。ごめんね。これからは、自分が悪いと思ったら、自分から謝るようにするよ。ギロに謝れて、気持ちが明るくなったよ。お月さまありがとう。 ・私も素直になれなかったり、わかっていてもできないことがある。だけど、コロは『うそをつきたくない。』『スッキリした気持ちになりたい。』と思って謝れたんだ。コロってすごいな。素直に謝れば気持ちも明るくなるんだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を理解し易くするために、T1T2によるパネルシアターで前半の資料を紹介する。 T1…コロ役 T2…ギロ、お月さま役 ・コロの中に「謝りたい」「謝らなくていい」という二つの相反する気持ちがあることを確認し、謝りたいけれど謝れないコロの気持ちについて十分考える。そして、素直になれないことで、気持ちが晴れないコロの心情を理解できるようにする。 ・また、素直に行動することのよさだけでなく、難しさについても考えさせる。 ・後半の資料を紹介する。 ・コロがギロに謝る場面を役割演技で演じるとともに、謝ったことをお月さまに報告する場面を演じることで、素直に謝れたコロが晴れ晴れとした気持ちになれたことを考えることができるようにする。 ・お月さま役のT1が、コロ役の児童に素直に謝れた時の気持ちについて問い返すことで、素直に謝ることの良さについて気付かせる。 T1…お月さま役 T2…ギロ役 児童…コロ役
展開後段	<p>素直な心で伸び伸びと生活するためには、どうするとよいのか、自分の生活を振り返り話し合う。 コロのように素直になれてよかったことや、素直になれずに困ったことはあるか。 ・学級遊びの鬼ごっこで、タッチされたのに、タッチされていないとごまかしてしまった。後からモヤモヤした気持ちになり、謝れば良かったと思った。ごまかしたりせずに遊べたら、もっと楽しかっただろうな。これからは、ごまかしたことは正直に謝って気持ちよく過ごしたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭での具体的な生活場面を振り返り、素直になれて良かったことや素直になれずに困ったことについて考えることで、素直な心で生活していくことの良さに気付かせる。
終末	<p>道徳ノートに自分の考えを書く。 教師の説話を聞く。</p>	<p><変容の見届け> ・自分の生活を振り返り、素直な心で行動することが明るい気持ちで生活できることにつながることに気付こうそやごまかしをせず生活していこうという気持ちをもつことができている</p>

2年2学期 道徳 実態分析・評価シート

内容項目	教科・領域・活動	内容	評価	よさや成長
A 正直、 誠実	学活	学校の諸問題を話し合おう		
	道徳	お月さまとコロ		
	生活	あそびの国を作ろう		
	体育	ボールゲーム		
	体育	おにごっこ		
	日常	係活動		
	日常	登下校の様子		
	日常	掃除の様子		
	日常	給食の様子		
	日常	教室の過ごし方		
	日常	学級遊び		
	日常	図書館の使い方		
	日常	遊具の使い方		
	日常	トイレのスリッパ		
	家庭	家庭学習		

< 2学期所見 >

評価のしかた 視点 A 正直, 誠実

道徳の授業

- ・正直に謝ろうか葛藤するコロの気持ち考え、発表することができたか。
- ・自分の生活を振り返り、うそやごまかしをせず明るく素直な心で生活していこうという気持ちをもつことができたか。

日常生活(学級遊び、掃除の様子など)

- ・うそをついたりごまかしたりしないで、素直にのびのびと生活することができる。